

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	東大和市救急医療体制整備事業補助金事務					
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名	志村明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	2 - 1	-
【施策名】 保健・医療の充実	総 合 計 画 書 (ページ)	47	

予算名	款 4	衛生費	項 1	保健衛生費	目 4	地域医療推進費	事業 1	救急医療体制整備事業費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------	------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	85,455人(平成31年3月1日時点)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	市民の生命及び健康を守るため、市民の救急医療の需要に応え救急医療にかかる体制整備 →	二次救急指定医療機関
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	不採算医療のうち救急医療に関する項目の特別交付税措置額に基づき、二次救急医療機関に対して補助金を交付する。 →	特別交付税措置額(補助金額)

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,942	85,728	85,455	/
	成果指標	②の数値	機関	1	1	1	/
	目 標	②の目標値					
		目標設定の考え方	特別交付税措置によるため、目標設定は困難である				
活動指標	③の数値	円	20,626,800	20,626,800	20,626,800	/	

3 経費	事業費(実績)		円	20,626,800	20,626,800	20,626,800	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	20,626,800	20,626,800	20,626,800	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	826,700	825,300	824,400		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	21,453,500	21,452,100	21,451,200		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	市民の生命及び健康を守るため、市民の救急医療の需要に応え救急医療にかかる体制整備を充実させるため平成27年度から開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
	財源元の特別交付税の算定額に変更があった。平成28年度	

仕 事 の 内 容	東大和市救急医療体制整備事業補助金事務				
担当部署・課長名	健康	課	庶務	係	課長名 志村明子

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	医療機関の自主事業として「小児初期平日準夜間診療事業」を週3日（火、水、金）、19時～21時30分で実施しており、市民等の利用実績があった。				

6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 なし				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 さらなる事業の周知のため市報、HP、チラシ配布を積極的に実施した。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 小児初期平日診療事業の市民の利用実績が伸び悩んでいる。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題				

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 小児初期平日診療事業の利用が増加するよう引き続き、事業周知の強化を検討する。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 引き続き、二次救急医療機関のHPでの、小児初期平日診療事業の周知について目立つようにするなどの強化充実を依頼する。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				

成果	成果を維持する。	経費	仕事の経費は維持する。
----	----------	----	-------------